

# ペンでつながる 心のタスキ

## 手作りの楽しさを 伝えたい



四栗 里美

小さい頃から手芸に興味があり、色々な物を作ってきました。手芸好きの方には経験があるのではないのでしょうか？

数年前に、モールアートに出会って私の活動が変わりました。モールアートとは、手芸用のモール（もこもこした毛のついた針金）を使って可愛いマスコットを作るアートです。そのクオリティーの高さに魅力を感じています。茨城県では、まだそれほど知られていないアートですが、先日取材のお話をいただき、マスメディアに掲載（<http://ibarakinews.jp/taste/pdf/532.pdf>）されました。イベントなどに参加し、普及活動してきた成果だと思っています。

最近では、海外向けの低品質なモールが出回っていますが、モールアートで使われるモールは良質な国内産を使用しています。そのモールでモールアート協会が目指す、大人から子供まで親しまれるアートになれるように、これからも活動していきたいと思っています。

また、今年からモールアートだけではなく、カラーワイヤークラフトというアートの活動も始めました。どちらも地域に根付いた活動をしていけるように頑張っていこうと思います。  
<http://ameblo.jp/ranmix>  
(土浦市、手作り工房dandelion主宰)

※牛久市の山本常子さん(12月13日付)からタスキを引き継ぎました。

「ペンでつながる 心のタスキ」では読者のみなさんのご意見、ご感想を募集しています。また、ぜひこの人にタスキをという推薦も募集しています。あて先は常陽新聞編集部 FAX029-869-9836 メールdesk@joyonews.jpまで



14日に開かれた若手起業家5人によるトークイベントでは、約30人が熱心に聞き入ったつくば市天久保

**memo** コワーキングスペース 仕事や立場が異なる人たちが集い、交流しながら働く場所のこと。

昨年7月からクラウディングファンディングサイト「キャンパファイヤー」で支援を募り、107万9000円を集めた。9月から築約40年63平方メートルのビル2階の一室を、漆喰(しっくい)での壁塗りや床張りも参加者を集め、イベントとして楽しみながら改修、心地よい空間を作り上げた。

現在、運営スタッフは堀下さんを含めて5人。朝活動する気持ちよさを伝えたい」と午前7時からオープンする(午後11時まで)。電源とWiFi(無線LAN)が使える。多くの人が利用してほしいと一日の利用料(ドロップイン)は、学生300円、一般500円と格安で、イベント貸し切り4割。アプリ系の開発

「ただのリーススペースにはしたくない。格安だくのは、自分の自己投資として場所を買ってほしいから」と堀下さん。

【訂正】23日付「郷土の歴史、児童ら研究」の記事で、沖理紗子さん(都和南小5年)とあるのは、沖理紗子さんの誤りにつきおわびして訂正します。

絵を描いたり、歌ったりがすることが大の苦手ですか。苦手なだけでなく、本人がひどく悩んでいることが問題です。少しいい加減であると、立派な建築物ができません。どうやったらよい土台がつくれるのでしょうか？

息子さんには小学生です。小学生の時はいろいろな土台をつくらせていく時期です。この土台づくりがよい加減であると、立派な建築物ができません。どうやったらよい土台がつくれるのでしょうか？

## 「やれることを一緒に」

「人を巻き込むのはなぜ大事」体験の共有で強固なつながりができる「お金じゃない価値を求めて人が来る」

今年14日に同スペースで開かれたトークイベント。北海道から招いたゲストハウスの経営者3人を含む若手起業家5人が、「あなたかな巻き込み力」をテーマに語り合った。参加した約30人からは「ユニケーションのとり方や起業について多く質問が飛び出し、会場は熱気に包まれた。」

「何か始めたいと思ったり、つくばの企業と出合えたりするコミュニケーションを思い立った。」

「ただのリーススペースにはしたくない。格安だくのは、自分の自己投資として場所を買ってほしいから」と堀下さん。

「ただのリーススペースにはしたくない。格安だくのは、自分の自己投資として場所を買ってほしいから」と堀下さん。

「ただのリーススペースにはしたくない。格安だくのは、自分の自己投資として場所を買ってほしいから」と堀下さん。

「ただのリーススペースにはしたくない。格安だくのは、自分の自己投資として場所を買ってほしいから」と堀下さん。

「ただのリーススペースにはしたくない。格安だくのは、自分の自己投資として場所を買ってほしいから」と堀下さん。

# Tsukuba Place Lab

筑波大学の近くに昨年12月、コワーキングスペース「Tsukuba Place Lab」(つくば市天久保)がオープンした。DIYで改修したビル2階の一室で、学生や個人事業主らが集い、イベントなども開かれる。立ち上げたのは、同大学の学生で、まちづくり会社を営む堀下恭平さん(26)。「人と人がつながり、やりたいことが実現できる場」と期待を膨らませる。

## 筑波大生が立ち上げ

# 交流しながら働く場提供

同スペース代表で生物資源学類4年の堀下さんは、5年前に学生カフェを開いたことをきっかけにまちづくりに興味を持った。フリーランスで下妻市の商店街の活性化事業などを手掛けた後、まちづくり会社を起業した。

「つくばは能力の高い学生がたくさんいて、それぞれが独立して横の連携がない。何か始めたいと思ったり、つくばの企業と出合えたりするコミュニケーションを思い立った。」

「ただのリーススペースにはしたくない。格安だくのは、自分の自己投資として場所を買ってほしいから」と堀下さん。

「ただのリーススペースにはしたくない。格安だくのは、自分の自己投資として場所を買ってほしいから」と堀下さん。

「ただのリーススペースにはしたくない。格安だくのは、自分の自己投資として場所を買ってほしいから」と堀下さん。

「ただのリーススペースにはしたくない。格安だくのは、自分の自己投資として場所を買ってほしいから」と堀下さん。



DIYイベントで改修した空間には居心地の良さが漂うつくば市天久保

「ラボという名の通り、実験の場」と堀下さん。「やれることをみんなで一緒にやろうというスタンスを一番大事にしたい。そして最終的に仕事につながるということができれば」と話している。

「ただのリーススペースにはしたくない。格安だくのは、自分の自己投資として場所を買ってほしいから」と堀下さん。

「ただのリーススペースにはしたくない。格安だくのは、自分の自己投資として場所を買ってほしいから」と堀下さん。

# 長野先生の 教育相談室

長野雅弘  
聖徳大学児童学部教授。  
同大付属取手聖徳女子中学校・高校の校長を今春まで7期務めた。教育書・指導書など著書多数。取手市在住。

Q 苦手なもので悩んでいる息子

A 専門家に任せてみましょう

小学5年の息子は主要教科の成績は特に悪いということはないのですが、絵を描いたり歌ったりするのが大の苦手です。持って生まれた才能があるかなにかだと思えますが、本人がひどく悩んでいる様子なので、アドバイスしたいのですが。(つくば市 30代の母親)

絵を描いたり、歌ったりがすることが大の苦手ですか。苦手なだけでなく、本人がひどく悩んでいることが問題です。少しいい加減であると、立派な建築物ができません。どうやったらよい土台がつくれるのでしょうか？

息子さんには小学生です。小学生の時はいろいろな土台をつくらせていく時期です。この土台づくりがよい加減であると、立派な建築物ができません。どうやったらよい土台がつくれるのでしょうか？

私のこれまでの経験では、お母さんが驚くほど早く、この問題は解消すると思います。

◆相談をお待ちしています。小学3年から大学院生までを対象に身近な子育てや教育をめぐる相談を保護者や子ども本人から受け付けます。常陽新聞「教育相談室」係まで、郵送、ファクス、メールtoukou@joyonews.jpのいずれかでお送りください。

私のこれまでの経験では、お母さんが驚くほど早く、この問題は解消すると思います。